



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 丸文株式会社

上場取引所 東

コード番号 7537 URL <https://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯野 亨

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 洪谷 敏弘

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	62,238	5.2	△603	—	△369	—	△310	—
2020年3月期第1四半期	59,182	△16.9	△298	—	301	—	△58	—

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 △623百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△11.89	—
2020年3月期第1四半期	△2.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	125,104	47,055	33.1
2020年3月期	131,451	48,204	32.2

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 41,361百万円 2020年3月期 42,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	136,500	△1.6	70	—	115	△64.4	35	—	1.34
通期	260,000	△9.6	2,300	△2.9	2,000	△0.3	1,235	—	47.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	28,051,200 株	2020年3月期	28,051,200 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,916,141 株	2020年3月期	1,916,141 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	26,135,059 株	2020年3月期1Q	26,135,082 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその事実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の拡大に伴う外出自粛や休業要請等の影響により、個人消費や雇用の低迷、企業収益が減少するなど景気が急速に悪化し、厳しい状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、自動車向けの需要が低迷したものの、テレワークの浸透によってPCの出荷が大幅に伸びました。また中国での生産活動の一部回復により産業機器向けでも回復の兆しが見えました。

こうした状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比5.2%増の62,238百万円、営業損益は603百万円の営業損失(前年同期は298百万円の営業損失)、経常損益は369百万円の経常損失(前年同期は301百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は310百万円の四半期純損失(前年同期は58百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業は、OA機器向け半導体が減少したものの、通信機器や民生機器向け半導体が増加した結果、売上高は前年同期比8.6%増の54,191百万円となりました。セグメント損益は、利益率の低下により、439百万円の損失(前年同期は256百万円のセグメント損失)となりました。

(システム事業)

システム事業は、LED光源の需要が増加したものの、設備投資抑制の影響を受けて産業機器やレーザ加工装置が低調に推移した結果、売上高は前年同期比13.3%減の8,046百万円、セグメント損益は、162百万円の損失(前年同期は40百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は112,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,539百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が7,087百万円減少したことによるものであります。固定資産は13,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が75百万円減少した一方で、投資有価証券が127百万円、繰延税金資産が102百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は125,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,346百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は71,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,110百万円減少いたしました。これは主に短期借入金3,366百万円、支払手形及び買掛金2,122百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は6,621百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が67百万円、長期借入金12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は78,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,197百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は47,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,148百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が833百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.1%(前連結会計年度末は32.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、各国における行動制限措置の緩和等を受け、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて算定いたしました。

2020年度の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きの不透明な状況が続くものと思われまます。しかし、足元では中国での生産活動が先行して回復するなど一部で改善の兆候も見受けられ、また5G通信機器向けやデータセンター向けなどのインフラ関連のほか、PCや民生機器向けの需要の増加が期待されております。

このような環境の下、2021年3月期の業績につきましては、システム事業において情報通信機器や産業機器、医用機器などの需要増が見込まれ、デバイス事業でも新規商材の取り扱い開始による伸長が見込まれるものの、通信機器向け半導体の減少や2020年9月を以ってTexas Instruments Incorporatedとの販売特約店契約が終了することによる売上の減少が見込まれます。その結果、売上高は260,000百万円(前期比9.6%減)となる見込みです。利益面では、営業利益は2,300百万円(前期比2.9%減)、経常利益は2,000百万円(前期比0.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,235百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失75百万円)となる見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,790	21,608
受取手形及び売掛金	50,062	42,974
電子記録債権	5,314	5,545
商品及び製品	40,678	38,241
仕掛品	54	164
その他	1,732	3,553
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	118,617	112,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,734	3,710
減価償却累計額	△2,381	△2,395
建物及び構築物（純額）	1,353	1,314
機械装置及び運搬具	10	10
減価償却累計額	△10	△10
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	2,510	2,608
減価償却累計額	△1,600	△1,640
工具、器具及び備品（純額）	910	968
土地	1,596	1,596
リース資産	105	108
減価償却累計額	△78	△82
リース資産（純額）	26	26
使用権資産	183	229
減価償却累計額	△60	△98
使用権資産（純額）	123	130
建設仮勘定	85	9
有形固定資産合計	4,094	4,045
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	3,102	3,230
繰延税金資産	858	960
その他	4,071	4,111
貸倒引当金	△440	△443
投資その他の資産合計	7,592	7,858
固定資産合計	12,833	13,026
資産合計	131,451	125,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,410	23,287
短期借入金	47,344	43,978
1年内返済予定の長期借入金	1,050	1,050
リース債務	93	108
賞与引当金	703	393
その他	1,937	2,609
流動負債合計	76,537	71,427
固定負債		
長期借入金	5,125	5,112
リース債務	79	122
退職給付に係る負債	1,089	1,022
役員退職慰労引当金	98	88
資産除去債務	182	182
その他	134	92
固定負債合計	6,708	6,621
負債合計	83,246	78,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	30,656	29,822
自己株式	△1,631	△1,631
株主資本合計	41,593	40,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	421
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	465	260
退職給付に係る調整累計額	△109	△82
その他の包括利益累計額合計	692	601
非支配株主持分	5,918	5,694
純資産合計	48,204	47,055
負債純資産合計	131,451	125,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	59,182	62,238
売上原価	55,371	59,106
売上総利益	3,810	3,131
販売費及び一般管理費	4,109	3,735
営業損失(△)	△298	△603
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	22	21
為替差益	900	355
持分法による投資利益	16	57
雑収入	41	17
営業外収益合計	986	458
営業外費用		
支払利息	311	137
売上割引	27	32
売上債権売却損	33	15
雑損失	14	39
営業外費用合計	386	224
経常利益又は経常損失(△)	301	△369
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
減損損失	200	5
特別退職金	—	99
その他	—	7
特別損失合計	202	112
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	99	△481
法人税等	91	△102
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8	△379
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	66	△68
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58	△310

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8	△379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	81
繰延ヘッジ損益	△21	4
為替換算調整勘定	85	△331
退職給付に係る調整額	2	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	△26
その他の包括利益合計	△56	△244
四半期包括利益	△48	△623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159	△401
非支配株主に係る四半期包括利益	111	△221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	99	△481
減価償却費	157	189
減損損失	200	5
のれん償却額	28	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△509	△309
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△60	△27
受取利息及び受取配当金	△28	△27
支払利息	311	137
為替差損益(△は益)	△891	△348
持分法による投資損益(△は益)	△16	△57
固定資産除売却損益(△は益)	1	0
特別退職金	—	99
売上債権の増減額(△は増加)	4,192	6,810
たな卸資産の増減額(△は増加)	680	2,317
仕入債務の増減額(△は減少)	2,710	△2,116
その他	761	△943
小計	7,634	5,236
利息及び配当金の受取額	53	28
利息の支払額	△307	△140
法人税等の支払額	△256	△123
法人税等の還付額	17	8
特別退職金の支払額	—	△99
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,141	4,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120	△73
定期預金の払戻による収入	35	157
有形固定資産の取得による支出	△87	△197
無形固定資産の取得による支出	△12	△64
投資有価証券の取得による支出	△6	△5
資産除去債務の履行による支出	△7	—
その他	54	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	488	△2,927
長期借入金の返済による支出	△12	△12
配当金の支払額	△502	△500
その他	△22	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48	△3,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	△365
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,986	900
現金及び現金同等物の期首残高	16,044	20,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,031	21,374

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(重要な契約の解除)

当社は、Texas Instruments Incorporatedとの間で締結しておりました販売特約店契約を2020年9月30日を以って終了することとなりました。詳細につきましては、2019年7月16日公表の「主要取引先との販売特約店契約終了に関するお知らせ」をご覧ください。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,906	9,275	59,182	—	59,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	2	2	△2	—
計	49,906	9,278	59,184	△2	59,182
セグメント損失	△256	△40	△296	△2	△298

(注) 1. セグメント損失の調整額△2百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」セグメントにおいて、旧株式会社ケイティールに係るのれんについて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては196百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「デバイス事業」セグメントにおいて、上記（固定資産に係る重要な減損損失）のとおり減損損失を計上しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間においては196百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,191	8,046	62,238	—	62,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	209	210	△210	—
計	54,192	8,256	62,448	△210	62,238
セグメント損失	△439	△162	△601	△1	△603

(注) 1. セグメント損失の調整額△1百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「システム事業」セグメントにおいて、丸文通商株式会社に係る建物について、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。